

令和7年度（令和6年度実施）  
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
 筆記審査（専門教養）  
 中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部  
 美術

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

**【注意事項】**

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



## 【共通問題】

第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 水彩画の技法の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ア

- a ドライブラシ－異なる色の境目を水で濡らした筆でぼかしていく。
- b たらし込み－最初に塗った絵の具が乾かないうちに、次の絵の具を乗せて、にじませる技法。
- c 拭き取り－絵の具が乾かないうちに塩をまくと、その部分の色が抜け、白い星状の斑点が生じる。
- d グラデーション－水分をたっぷりに溶いた絵の具を紙に垂らす技法。強く振り切る、静かに振り下ろすなど、動作に変化をつけると表情が生まれる。

(2) 次の作品に用いられている技法として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 イ

- a 絵の具を混ぜずに、点で描写する技法。隣り合った絵の具は、離れて見ると混ざり合って見える。
- b 線描を用いずに、濃淡によって対象や空間を描く技法。
- c 性質の異なる2種類の絵の具を、それぞれ層状に重ねて描く混合技法。
- d 溶き油を多めにして、徐々に色を重ね、自然な陰影を描く方法。

- (3) 「リトグラフ」の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ウ

- a 版全体に傷をつけてから、インクをのせない部分を磨いて絵柄を浮かび上がらせる。  
 b 版のつくり方には、カッティング法や写真製版法などがある。  
 c 水と油の反発作用を利用して印刷する。  
 d 版面に松やにの粉末をまき、熱して定着させて、腐食液に浸ける。

- (4) 「空摺」の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

エ

- a 絵の具に雲母の粉末を混ぜる技法で背景の絵の具が輝いて見える。  
 b 細い線で髪の毛の生え際を表現する技法。  
 c 紅や草色など2～3色を重ねて摺る。  
 d 版木に絵の具をつけずに摺り、紙に凹凸をつける方法。凹凸の陰影により模様や線が表現される。

- 2 次の(1)～(5)に答えなさい。

- (1) 次の文中の( A )～( D )に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 オ

粘土などで像をつくることを( A )といい、( B )などを使って心棒をつくり、粘土をつけていく。また、木や石などを彫って像をつくることを( C )という。塊から彫り出すため、最初に明確なイメージをもって取りかかるとよい。( D )の『長い休止符』などが、これにあたる。

- a A 塑造 B しゅろ縄 C 彫造 D 舟越桂  
 b A 彫造 B しゅろ縄 C 塑造 D アルベルト・ジャコメッティ  
 c A 塑造 B スパチュラ C 彫造 D 舟越桂  
 d A 塑造 B スパチュラ C 彫造 D アルベルト・ジャコメッティ

- (2) 「法隆寺 釈迦三尊像」の制作技法として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。 カ

- a 寄木造 b 金銅造 c 漆箔 d 乾漆造

(3) 次の作品の作家の説明として最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

キ

- a 明治時代に活躍した彫刻家である。ロダンに影響を受け、その表現や思想を日本に伝える大きな役割を果たした。『坑夫』はパリ留学時代の作品である。
- b 作品『慶典読書奉仕』では、髭や顔のしわまで繊細に表現した彫りと着彩の効果が相まって、生きている人のような写実性が追究されている。また、衣装は形を単純化し、暗い着彩を施すことで、顔立ちを一層引き立てている。
- c ロダンの影響を受けた塑造作品や、東洋的な思想を反映させた彫刻も制作した。また、評論「緑色の太陽」で芸術家の自己表現の重要性を語り、ロダンの言葉を翻訳した『ロダンの言葉』を刊行するなど、執筆面でもロダンをはじめとする西洋近代彫刻の普及に携わった。
- d 明治に起きた廃仏毀釈の波を受けて廃業の危機に陥るが、仏師として磨いた様式を重んじる伝統的な木彫の技術と、西洋の写実的な表現を取り入れ、日本における近代木彫家の先駆けとして活躍した。

(4) 「ダヴィデ」(ミケランジェロ・ブオナローティ)の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。ク

- a 顔を背け、上体をひねりながら左右の腕で上下に引っぱり合うような劇的なポーズに、人物の激しい感情が現れている。
- b 8頭身の美しい容貌、どっしりとした下半身、単純化された体のラインや形体、見上げる姿勢などから実際の大きさ以上の量感や存在感が感じられる。
- c 高さが410cmもある巨大な石像で、下から見上げたときにバランスよく見えるように頭部が大きくつくられている。
- d 均整のとれた身体にまとわる衣が風になびき、大地に足を踏み出した姿からは、動勢と迫力が感じられる。

- (5) 次の文中の ( A ) ~ ( D ) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、それぞれ下の a ~ d から一つずつ選びなさい。 ケ

彫刻作品が設置されることで、周囲の雰囲気に変化したり、人々の ( A ) ことがある。そのため、設置する場所や ( B ) 制作することが大切である。イサム・ノグチは、札幌市に設置された自身の作品『( C )』を「この作品は100年後に完成するだろう」と語り、( D )。

- a A 交流が生まれたりする  
 B 未来の社会を見据えて  
 C クラウドゲート  
 D 町や地域に活気をもたらすことを期待した
- b A 交流が生まれたりする  
 B 周囲の環境との調和を考えて  
 C ブラック・スライド・マントラ  
 D ここを滑る子供たちのお尻が、長い時間をかけてこの彫刻を磨いていくと考えた
- c A 動きをスムーズに誘導したりする  
 B 天候や季節による印象の変化を考慮して  
 C クラウドゲート  
 D 町や地域に活気をもたらすことを期待した
- d A 動きをスムーズに誘導したりする  
 B 情報がひと目で伝わるように  
 C ブラック・スライド・マントラ  
 D ここを滑る子供たちのお尻が、長い時間をかけてこの彫刻を磨いていくと考えた

3 次の(1)～(5)に答えなさい。

(1) 「国風文化」の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

コ

- a 藤原氏を頂点とする貴族が新しい文化の担い手となり、かな文字の発達による女性文学の誕生、寝殿造による住居の建築など、情趣豊かな文化が生み出された。
- b 遣唐使の派遣が盛んになり、朝鮮半島を経由せずに中国大陸の文化の影響を受けるようになった。仏像は、豊かな表情や伸びやかで変化のある体軀のものが多くつくられた。建築は、前時代の重厚さに比べ、優美で均整のとれたものになった。
- c 封建社会の仕組みが確立され、商工業も発展した。町人や商人も経済力をもち、美術文化も多くの民衆の生活の中へと広がった。政治や治安が安定すると日本独自の美術文化が発展し、琳派や浮世絵などが興った。
- d 富を得た民衆たちが文化を支え、千利休は茶の湯の諸形式を確立し、茶道として大成させた。この時代の代表的な絵師には、狩野永徳、山楽、長谷川等伯があげられる。等伯は、金碧障壁画や水墨画を数多く手がけた。

(2) 絵巻物の読み方として適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

サ

- a 肩幅程度に広げて見る。
- b 右手で広げ、左手で巻き取りながら見ていく。
- c 絵巻物を体の右側に置き、左手で巻き筒を広げる。
- d 巻き取られた部分は過去になる。

(3) 岡倉天心の功績として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

シ

- a 欧化を目指す新政府によって設立された工学寮の付属施設である工部美術学校〔(明治9年(1876)設立)〕の教師として、「画学」「彫刻」の指導にあたった。
- b 京都高等工業学校教授として装飾デザインを手がけ指導する一方、聖護院洋学研究所や関西美術院を開いて関西洋画壇の育成に努めた。
- c 歴代の中国陶磁を研究して新しい釉を工夫し、アール・ヌーヴォーの意匠も取り入れて官展系の陶芸の権威となった。
- d 東京美術学校設立の中心人物であり、明治20年代を通じて美術教育の基礎をつくり上げるとともに、英文による著作『東洋の理想』、『日本の覚醒』を出版した。

(4) 「シュルレアリスム」の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 精神分析科医ジグムント・フロイトの深層心理学に強い影響を受けて興った運動。文学、美術など広い範囲に影響を及ぼした。精神の解放を目指し、心の奥底にある無意識の世界を表現しようとした。
- b 1980年代に現れた絵画表現の様式。荒々しい筆致、原色による対比的な色彩を用いて、暴力や死、性、夢、神話などのイメージを図像の組み合わせや文字などで表現した。
- c 第一次世界大戦中にヨーロッパで起こり、その後ニューヨークでも展開された運動。社会や文化に対する抵抗や絶望感などを根底に、過去の伝統や文化を否定する反芸術的、虚無的な表現などを行った。
- d 19世紀末から20世紀初頭にかけて、ドイツを中心として展開された芸術運動。美術では印象主義への反動と考えられている。人間の内部に潜む感情を、原色を多用し、独特の色彩と形態、筆触で描いた。

(5) 次の作品の説明として最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- a 1970年代に起こった世界的な美術の様式によるものであり、記号や文字、文章、身体表現などを用いて、視覚化できない観念などを表現した作品。
- b 描く行為自体に重要性を与えたアクション・ペインティングとよばれる表現による作品。大戦後から1950年代にかけてアメリカを中心に展開された多様な抽象絵画の運動を抽象表現主義と呼んだ。
- c シンプルな形や色の繰り返しで構成されるのが特徴的な作品。1960年代のアメリカを中心に世界的に見られた美術の様式である。
- d 即興的に絵筆を走らせた痕跡を作品とするなど、潜在的な意識から生まれ出るものの表現を試みたもの。1940年代半ばに起こったヨーロッパにおける抽象絵画の美術運動アンフォルメル作家による作品。

第2問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(8)に答えなさい。

(1) 「色の三属性」の組み合わせとして最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a レッド, グリーン, ブルー
- b 色相, 明度, 彩度
- c 無彩色, 有彩色, 純色
- d イエロー, シアン, マゼンタ

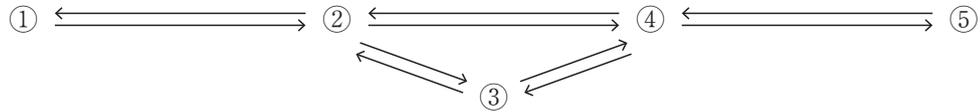
(2) 「補色」の効果の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 色相環で180度離れた色相同士の色。コントラストが強くなり、より鮮やかに見える。
- b 赤身のお寿司を黒い皿にのせることで、赤身はより鮮やかに、ご飯の白はより明るく見える。
- c 同じ灰色の四角は、背景を明るい灰色にすると暗い灰色に見え、背景を黒にすると明るい灰色に変化して見える。
- d 赤いネットに入ったミカンは、実際の色味よりもネットの色に近づいて鮮やかに見える。

(3) 次の図にみられる配置の法則として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a シンメトリー
- b グラデーション
- c アクセント
- d リズム

- (4) 次の図は、環境問題に対する注意喚起を目的としたポスターのアイデアを形にするまでの過程を示したものである。図中の①～⑤の過程とその説明A～Eの組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。



- A 配色カードで色彩計画を考え、色鉛筆で彩色する。  
 B スケッチを描きながらアイデアを考える。  
 C 環境問題について社会的な問題と自分に身近な解決方法に分けてキーワードを出し、ポスターに表すメッセージを考える。  
 D 書籍やインターネットを活用してテーマに関する資料収集等を行い、制作の参考に  
 にする。  
 E 絞り込んだアイデアをもとに、描く内容を整理してラフスケッチを描く。ラフスケッチのパーツを切り出して並べ、配置や構図を検討する。構図が決まったら、文字情報、パーツの大きさ、余白の調整などを行い、レイアウトを確定して下図とする。

- a ① A ② C ③ D ④ B ⑤ E  
 b ① C ② B ③ D ④ E ⑤ A  
 c ① E ② C ③ B ④ D ⑤ A  
 d ① B ② A ③ D ④ C ⑤ E

- (5) 「アール・ヌーヴォー」の説明として適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 19世紀末から20世紀初頭にかけて、ヨーロッパを中心に起こった国際的な芸術運動。  
 b スウェーデンでは、「美しい日用品」を目指す芸術家と産業界を結ぶ運動が起こった。  
 c 植物や動物をモチーフにした有機的な曲線を用い、ポスター、建築、家具などがつくられた。  
 d アルフォンス・ミュシャはポスターで人気を博し、建築ではフランスのエクトール・ギマールなどが活躍した。

- (6) 次の文の ( A ) ~ ( D ) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

1919年、( A ) では、理論と実践を一体化させた造形教育を目指し、( B ) が設立された。( C ) を前提とし、( D ) 国際的なデザイン思想は、台頭した民族主義のナチスによって弾圧され、1933年に閉鎖されるが、( B ) の教育理念は世界各地に広がり、モダンデザインの礎となった。

- |   |                |                     |
|---|----------------|---------------------|
| a | A ドイツ          | B バウハウス             |
|   | C 機械生産         | D 合理性、機能性を求めた       |
| b | A ドイツ          | B ドイツ工作連盟           |
|   | C 良質な工業製品の生産   | D 合理性、機能性を求めた       |
| c | A オランダ         | B デ・ステイル            |
|   | C 自然と建築との共生    | D 健全な社会と工芸のあり方をとなえた |
| d | A オランダ         | B ウルム造形大学           |
|   | C クラフツマンシップの復興 | D 健全な社会と工芸のあり方をとなえた |

- (7) 「アップサイクル」の説明として最も適切なものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。

- a まだ使える不用品を他の人に提供して、活用をはかること。
- b 廃棄物を回収・再生し、再資源化すること。
- c 不要なものを使って新しいものをつくりだすこと。
- d 安価で、流通に適した合理的な製品のかたちを求めること。

- (8) 「ユニバーサルデザイン」の例として適切でないものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。

- a 食べものをすくいやすくするために、内側に「返し」つけた食器。誰でもこぼさず、最後まできれいに食べられ、重ねて収納することもできる。
- b 視覚と聴覚の両方で情報を伝える、スピーカーのついた信号機。
- c 車椅子利用者やお年寄りも通行しやすい、階段の横のスロープ。
- d 廃棄される消防ホースを素材として生かして仕立て直した、丈夫で耐水性のあるバック。

2 次の(1)～(6)に答えなさい。

(1) 次の図A・Bの技法名の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a A かまぼこ彫り      B 片切り彫り
- b A 菱合い彫り      B 片切り彫り
- c A 菱合い彫り      B 薬研彫り
- d A かまぼこ彫り      B 薬研彫り

(2) 「木工作品の仕上げ・塗装」の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a オイル仕上げ－表面に膜をつくって丈夫にする。塗ってすぐは匂いが残ることもある。
- b ワックス・ロウ仕上げ－ミツロウなどを木材に塗り込むことで、表面を保護する。
- c 漆塗り－木にしみ込んで内側から保護する。しっとりとした自然な風合いになる。
- d ニス塗装－樹液から取れる天然の塗料を使った技法。使うごとに味わいを増す。

(3) 「蒔絵」の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 彫刻刀などで点や線を彫り、金箔や細かい金粉をすり込む技法。
- b 金や銀の薄い板を模様の形に切り、漆を塗った表面に貼り付ける技法。
- c 夜光貝などの貝殻を薄く加工し、木地や漆地の面に埋め込んだり、貼り付けたりして装飾する技法。
- d 漆で絵を描き、漆が固まらないうちに、金の粉をまいて模様を表す技法。

- (4) 次の文の ( A ) ~ ( D ) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

陶器は、( A ) などの鉱物を含んだ粘土を素材とする。成形後、釉薬をかけ、( B ) °C程度で焼き上げる。

磁器は、ガラス質成分が多く含まれる ( C ) を細粒化し、粘土と調合したものが素材となる。成形後、釉薬をかけ、( D ) °C程度で焼き上げる。

- |   |          |             |       |             |
|---|----------|-------------|-------|-------------|
| a | A 凝灰岩    | B 1100~1300 | C 陶石  | D 1200~1350 |
| b | A カオリナイト | B 1100~1300 | C 陶石  | D 1200~1350 |
| c | A カオリナイト | B 800~1100  | C 花崗岩 | D 1100~1300 |
| d | A 凝灰岩    | B 800~1100  | C 花崗岩 | D 1100~1300 |

- (5) 次の工芸品と産地の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

- |       |       |
|-------|-------|
| a 佐賀県 | b 岡山県 |
|-------|-------|

伊万里・有田焼

信楽焼

- c 栃木県

- d 愛知県

砥部焼

美濃焼

- (6) 次の文の ( A ) ~ ( C ) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。 

セ
---

大正末期に始まった美術界の動きのひとつとして、( A ) らが展開した民藝運動があげられる。( B ) に美を見いだし、工芸の分野に積極的な創作を促した。( C )、芹沢銈介らが中心的な作家として活動を続けた。

- |   |         |                       |
|---|---------|-----------------------|
| a | A 今和次郎  | B 個性的な表現を追求した工芸品      |
|   | C 加守田章二 |                       |
| b | A 今和次郎  | B 庶民の生活に育まれた手づくりの生活道具 |
|   | C 松田権六  |                       |
| c | A 柳宗悦   | B 庶民の生活に育まれた手づくりの生活道具 |
|   | C 河井寛次郎 |                       |
| d | A 柳宗悦   | B 個性的な表現を追求した工芸品      |
|   | C 濱田庄司  |                       |

第3問 次の1～6の問いに答えなさい。

1 (1)・(2)の作品の作者名を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| a レンブラント・ファン・レイン | b ピーテル・パウル・ルーベンス |
| c ディエゴ・ベラスケス     | d エドガー・ドガ        |

(2)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| a 奥村土牛        | b エドワード・ホッパー  |
| c ノーマン・ロックウェル | d ジョルジョ・デ・キリコ |

2 (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a 与謝蕪村    b 伊藤若冲    c 富岡鉄斎    d 長谷川等伯

(2)

a 上村松園    b 速水御舟    c 横山大観    d 東山魁夷

3 (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1) 

オ
---

a ドナルド・ジャッド

b ロバート・ラウシェンバーグ

c ジャスパー・ジョーンズ

d ジョゼフ・コーネル

(2) 

カ
---

a 柳原義達

b ジャコモ・マンズー

c 萩原守衛

d オーギュスト・ロダン

4 (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| a ル・コルビュジエ   | b フランク・ロイド・ライト |
| c エクトール・ギマール | d 片山東熊         |

(2)

- |        |               |
|--------|---------------|
| a 永井一正 | b レイモン・サビニャック |
| c 田中一光 | d 福田繁雄        |

5 (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a ルネ・ラリック

b エミール・ガレ

c ポール・ヘニングセン

d ウィリアム・モリス

(2)

a 柳宗理

b ミヒヤエル・トーネット

c ヘリト・トーマス・リートフェルト

d 深澤直人

6 (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- |   |               |   |                 |
|---|---------------|---|-----------------|
| a | ロバート・スミッソン    | b | レアンドロ・エルリッヒ     |
| c | アンディ・ゴールズワージー | d | クリスト, ジャンヌ＝クロード |

(2)

- |   |        |   |      |
|---|--------|---|------|
| a | 浅井裕介   | b | 池田学  |
| c | 大岩オスカー | d | 西元祐貴 |

## 【選択問題 中学校】

第4問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 2 内容 A 表現(1) ア」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(ア) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、(①)との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

- a 表現の意図と醸し出す雰囲気
- b 全体と部分
- c 構成・構図や配色
- d 空間や余白

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 2 内容 A 表現(1) イ」の一部を抜粋したものである。文中の(②)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(ア) (②)の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

- a 伝達や使用
- b 活動
- c デザイン
- d 構成や装飾

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容 A 表現(2) ア」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから(①)総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。

- a 手順と表現の効果を
- b 学習過程を
- c 美しく効果的に生かされるように
- d 制作の順序などを

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容 B 鑑賞(1) イ」の一部を抜粋したものである。文中の(②)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(ア) 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや(②)などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

- a 自然との共生
- b 環境
- c SDGs
- d くつろぎ

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容〔共通事項〕(1)」の一部を抜粋したものである。文中の（③）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

ア 形や色彩，材料，光などの性質や，それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に，（③）や作風などで捉えることを理解すること。

- a 様式
- b 心情
- c 全体のイメージ
- d 造形の要素

【選択問題 高等学校】

第4問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 A 表現(1)ア」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(ア) 自然や自己，生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと，(①)などから主題を生成すること。

- a 抽象的な概念
- b 体験や感動
- c 夢や想像
- d 自らが強く表したいこと

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 A 表現(2)ア」の一部を抜粋したものである。文中の(②)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(イ) デザインの(②)，表現形式の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練ること。

- a 機能や効果
- b 目的や条件
- c 伝達性や機能性
- d 働き

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術Ⅱ 2 内容 A 表現(1) ア」の一部を抜粋したものである。文中の(①)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(ア) 自然や自己、(①)を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。

- a 多様な視点から物事
- b 社会など
- c 自己の体験
- d 既成の概念

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術Ⅱ 2 内容 A 表現(3) ア」の一部を抜粋したものである。文中の(②)に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

(イ) 映像表現の(②)効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。

- a 機器を選択し
- b 色光や動きなどの
- c 視覚的な要素などの
- d 多様性と柔軟性の

- 3 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第6 美術Ⅲ 2 内容 B 鑑賞 (1) ア」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

(ア) 造形的なよさや美しさ、目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、（ ① ）、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めること。

- a 美術の役割や意義
- b 技法上の特長
- c 作品のもつ文脈を読み取り
- d 作者の主張

## 【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和4年12月に文部科学省より示された「生徒指導提要」の一部である。

発達障害を含む障害者への差別の解消に関して、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されました。この法律では、障害を理由とする「」の禁止と障害者への「合理的配慮の提供」が求められています。とは障害者の権利利益を侵害することです。合理的配慮の提供とは、から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合は、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮に努めなければならないということです。

- (1) 空欄アに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 不当な差別的な取扱い      b 活動の制限  
c 各種機会の提供の拒否      d 選挙活動の制限

- (2) 空欄イに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 学級担任                      b 障害者  
c 医師                            d 関係者

2 次の文は、令和3年9月に文部科学省から通知された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行について（通知）」にある「留意事項」の一部である。

文中の  ～  に当てはまる語句を下の1～9の中から一つずつ選びなさい。

(1) 定義（第2条関係）

- ① 「医療的ケア」の定義は、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の  であり、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（以下「学校」という。）において、  の指示の下、医療的ケア看護職員や喀痰吸引等（社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第2条第2項に規定する喀痰吸引等をいう。以下同じ。）を行うことができる介護福祉士、認定特定行為業務従事者（社会福祉士及び介護福祉士法附則第3条第1項に規定する認定特定行為業務従事者をいう。以下同じ。）が従前から行っている医療的ケアの範囲を変更するものではないこと。（第2条第1項関係）
- ② 「医療的ケア児」の定義は、日常生活及び社会生活を営むために  に医療的ケアを受けることが不可欠である児童であり、18歳未満の者に加え、18歳以上の者であって、高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部に在籍する者も含まれること（以下「児童生徒等」という。）。（同条第2項関係）

- 1 学校長      2 医療行為      3 定期的      4 医師      5 健康管理  
6 恒常的      7 養護教諭      8 緊急的      9 看護行為

ウ
エ
オ

- 3 次の文は、「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

児童生徒一人一人の学習状況を  に評価するため、 の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが重要である。一つの授業や単元，年間を通して，児童生徒がどのように学ぶことができたのかや，成長したのかを見定めるものが学習評価である。

(中略)

なお，教科別の指導を行う場合や各教科等を合わせて指導を行う場合においても，

の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが必要である。

- (1) 空欄カに入る語句を，次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 長期的      b 短期的      c 効率的      d 多角的

- (2) 空欄キに入る語句を，次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 自立活動      b 6区分27項目      c 各教科      d 各段階

- 4 次の文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

自立活動は，特別支援学校の教育課程において特別に設けられた  である。この自立活動は，①授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし，各教科等の指導においても，自立活動の指導と密接な関連を図って行われなければならない。このように，自立活動は，障害のある幼児児童生徒の教育において，教育課程上重要な位置を占めていると言える。

- (1) 空欄クに入る語句を，次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 指導形態      b 指導領域      c 教科      d 専門教科

- (2) 下線部①「授業時間」について，「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月）」では，児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じてどのように定めるとされているか，次の a～d の中から選びなさい。

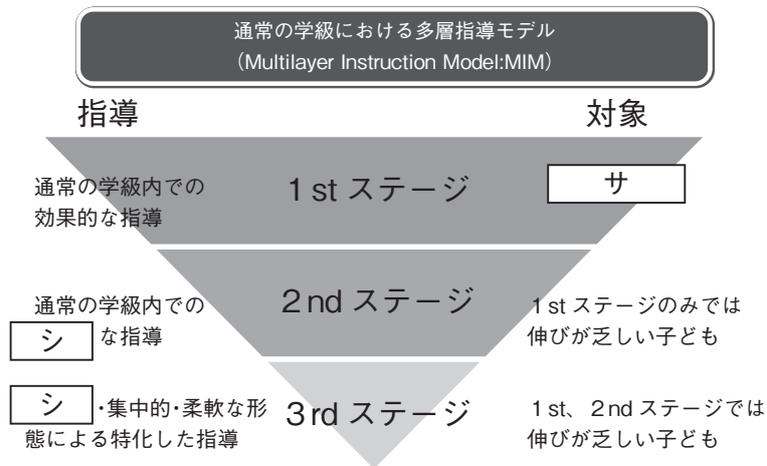
a 年間10単位時間から280単位時間までを標準とする。  
 b 年間35単位時間から280単位時間までを標準とする。  
 c 年間7単位を超えない範囲で定めるものとする。  
 d 適切に定めるものとする。

5 次の文は、高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック [改訂版]』（令和3年3月）の一部を示したものである。

文中の  ～  に当てはまる語句を、下の a～dの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(2) 通常の学級における学習につまずきのある子どもへの支援の在り方

通常の学級において、学習につまずきのある子どもへの対応を考える上で、多層指導モデル（MIM）が参考になります。これは、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援を提供していこうとするモデルであり、特に子どもが学習に  に、また、つまずきが重篤化する前に指導・支援を行うことを目指すものです。MIMでは、まず1stステージでは、通常の授業の中で質の高い指導を  に実施します。2ndステージでは、1stステージのみでは伸びが十分でない子どもに対して、通常の授業に加え、その他の時間帯等も使いながら、  な指導を行っていきます。その子ども向けの教材、その子どもに向けての指示等、通常の学級内での  な指導ととらえます。3rdステージでは、1stステージ、2ndステージの指導を行ってもなお、伸びが乏しい子どもに対し、より個に特化した集中的な指導を実施します。 、集中的に柔軟な形態での特化した指導を目指します。指導の場としては、通常の学級内にとどまらず、  等での指導も考えられます。



引用文献

「通常の学級における学習につまずきのある子どもへの多層指導モデル（MIM）開発に関する研究」海津他【2008】

- |            |           |
|------------|-----------|
| a つまずいた時   | b つまずく前   |
| c 興味がもてない時 | d 集中できない時 |

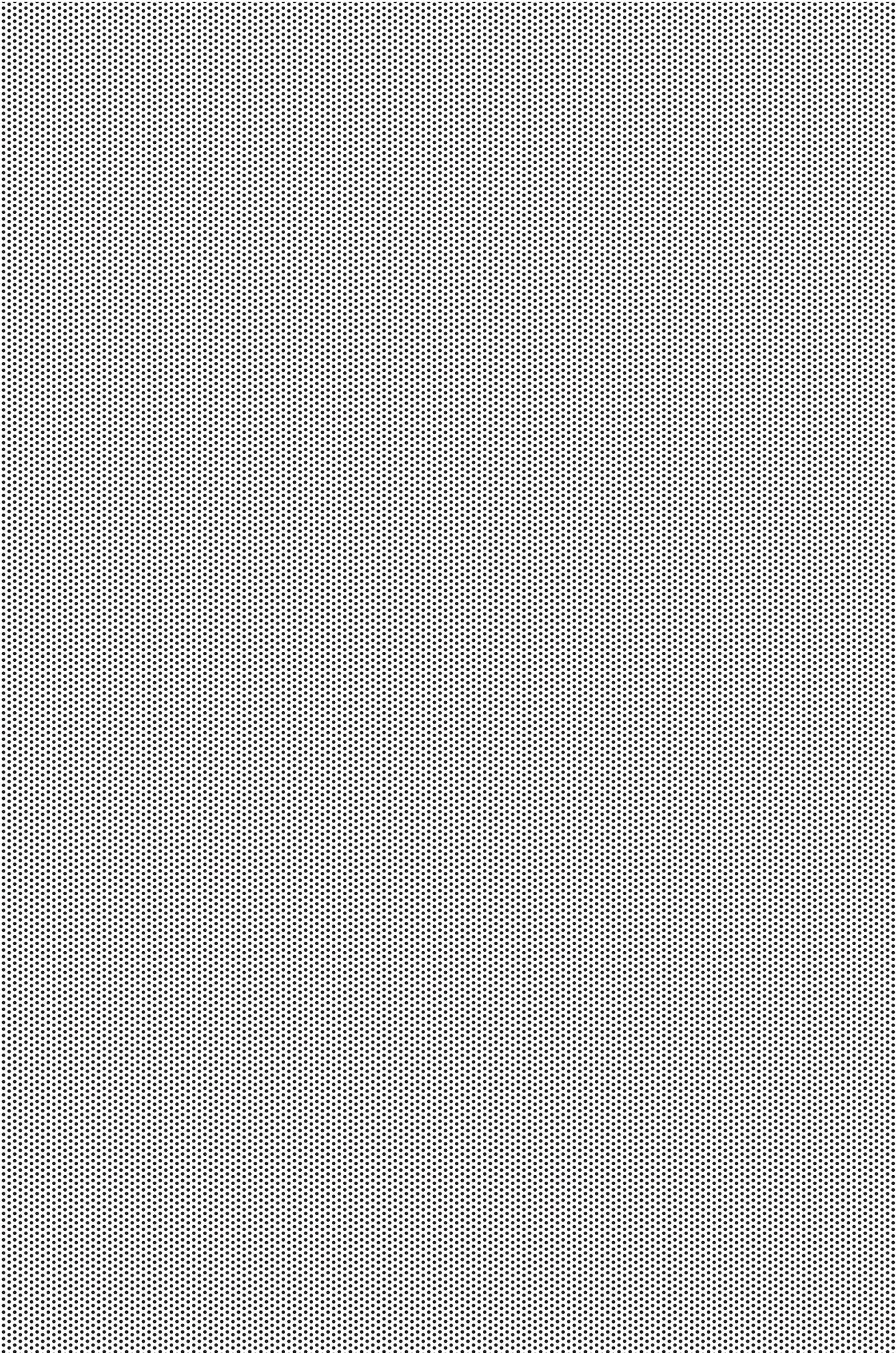
- |              |                  |
|--------------|------------------|
| a 全ての子ども     | b 特異な才能のある子ども    |
| c つまずきのある子ども | d 特別な配慮を必要とする子ども |

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| a 発展的 | b 総合的 | c 横断的 | d 補足的 |
|-------|-------|-------|-------|

- |          |             |
|----------|-------------|
| a 居住地校交流 | b 通級指導教室    |
| c 適応指導教室 | d 交流および共同学習 |







- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号  と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の  b  をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 第4問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 7 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。